

地域の年長者に感謝の気持ちを



三田市立弥生小学校六年一組 田中大翔

今、ぼくは小学六年生です。ぼくは、ふだんから地域のおじいさん、おばあさんにお世話になっています。

小学校一・二年生の時は、下校時に家の近くまでつきそって帰っていただきました。まだ学校生活になれていないから、いろいろなお話をしながら帰れて安心できたし、楽しかったです。今は、地域みなさんと一緒に帰ることはないけれど、登校時には今も見守ってくださっていることが分かるので、感謝しています。

信号の前において、事故にあわないように見守ってくれていて、心強いし、優しさを感じて温かい気持ちになります。ニュースで登下校時に小学生が事故にあっていることを知って、ぼくたちは大切にされていることを感じます。もちろん、今の低学年がぼくたちの時のように一緒に下校を見守ってもらっていることも知っています。

他にも、学校の授業で使う野菜などを畑で作る時に「やよいファーム」のみなさんが手伝ってくれています。夏休みなど長期のお休みで、ぼくたちは水やりができません。そんな時に水やりをしてくださっていることを知って、うれしかったです。

最近一番お世話になっていると感じたのは、家庭科でミシンを使うことになった時です。ぼくは、不器用で家庭科が苦手です。始まる前は、不安でした。

でも、地域の方がボランティアでミシンの使い方を手伝ってくださって、困ることがなかったです。分からないところを聞くと、すぐに教えてもらえたので、とても心強かったです。おかげで、上手くいきました。

ぼくの住んでいる地域には、お年寄りが多いです。通っている小学校は、児童数が少なく一学年一学級しかありません。少ないからこそ、おじいさん、おばあさんが地域の子どもたちを大切にしてくれているのかなと思います。ぼくがよく関わってもらっている方は、元気なおじいさん、おばあさんが多いです。でも、長い間生きているので、足こしが弱ってきたり、持病を持っていたりすると思います。おじいさん、おばあさんがぼくたちを大切にしてくださっているので、ぼくたちもおじいさん、おばあさん方を大切にしていきたいと思います。ぼくにどういう手助けができるか具体的には分からないけれど、今から色々考えていけたらと思います。

ぼくたちの地域のおじいさん、おばあさん方には、これからも長生きして、弥生小学校の子どもたちを見守ってもらえたら、ぼくはうれしいです。

今年、喜寿・米寿・白寿を迎えられたみなさん、本日はまことにおめでとうございませう。

